

反社チェックサービス RISK EYES
仕様書
(記事数表示 API)

第 4 版

2021 年 9 月 13 日

ソーシャルワイヤー株式会社

– 目次 –

1. 記事数表示 API について	3
1.1. 処理概要	4
1.2. 基本フロー	4
1.3. 例外フロー	5
2. API 一覧	6
2.1. 記事数表示 API の一覧.....	6
3. 会員認証 API	7
3.1. リクエスト	7
3.2. レスポンス	8
4. 記事数表示 API	10
4.1. リクエスト	10
4.2. レスポンス	14
5. 認証トークン再発行 API	16
5.1. リクエスト	16
5.2. レスポンス	17
6. リクエストパラメータについて	19
6.1. 検索条件の文字数制限について.....	19
6.2. 検索条件で指定できる文字列の制限について	19
7. 留意点	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.1. 会員ページでのリアルタイム検索について.....	20
7.2. バッチ処理について	20

－ 改訂履歴 －

版	項目	主な改訂内容 (概要)
第 1 版 2018 年 12 月 25 日	—	新規作成
第 2 版 2020 年 08 月 21 日	4.1.	パラメータの追加 ・ createdate_start (記事登録日開始期間) ・ enduserid (利用者 ID)
第 3 版 2020 年 12 月 23 日	4.1	パラメータの追加 ・ remark ・ condition_id
第 3 版 2021 年 9 月 13 日	4.1	記事数表示 API にリクエストを送った際、『500 Internal Server Error』 となる場合の確認方法について追加
	6.2	検索条件で指定できる文字列の制限について ネガティブワードに含まれるキーワードは指定できない旨を追加

記事数表示 API について

1.1. 処理概要

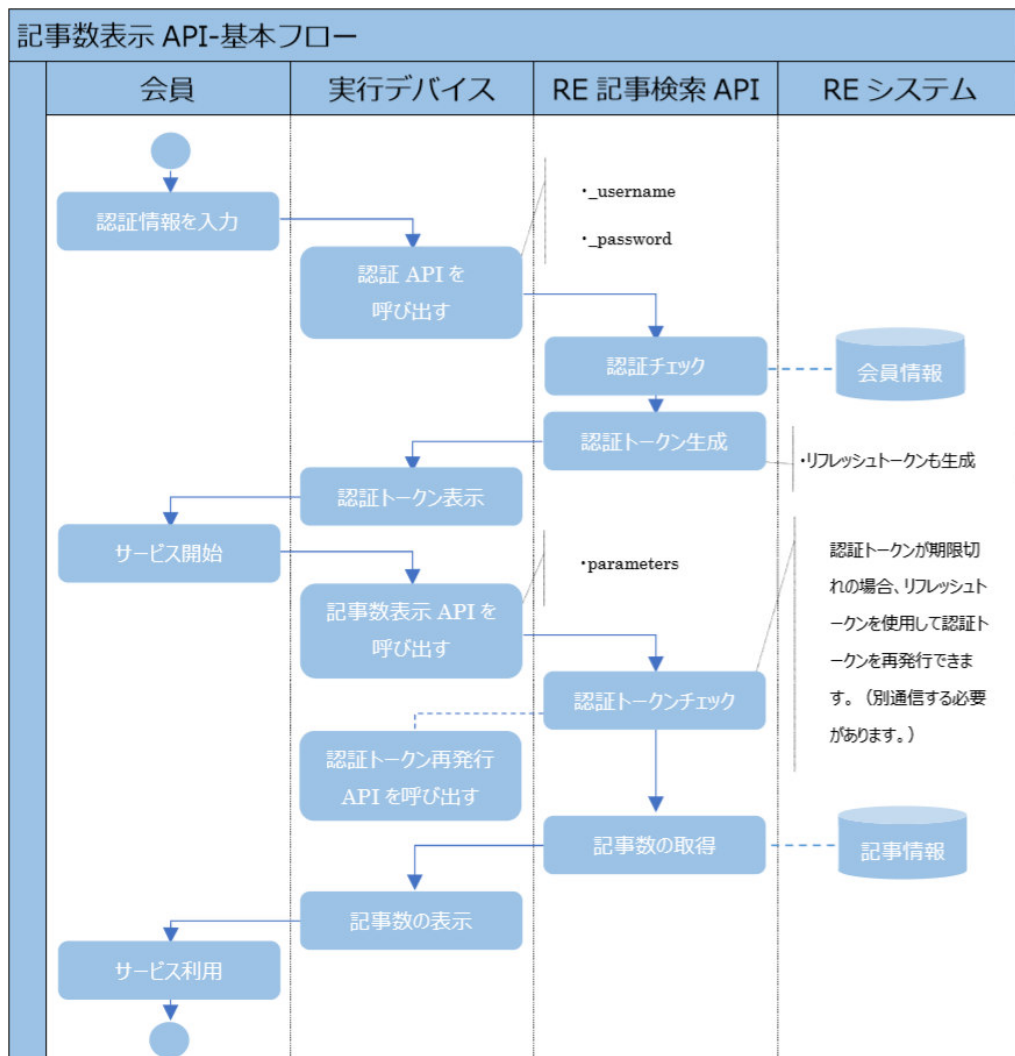
調査対象となる「法人名」「人名(代表者名など)」などの検索条件を指定し、会員ページに事前に設定してあるネガティブワードとの複合条件で検索した、従来は本サービスの会員ページ内で表示される『記事数』を本 API により出力します。記事がヒットした取引先に関する記事は会員ページでも検索できます。

1.2. 基本フロー

記事数表示 API の基本フローを下図に示します。

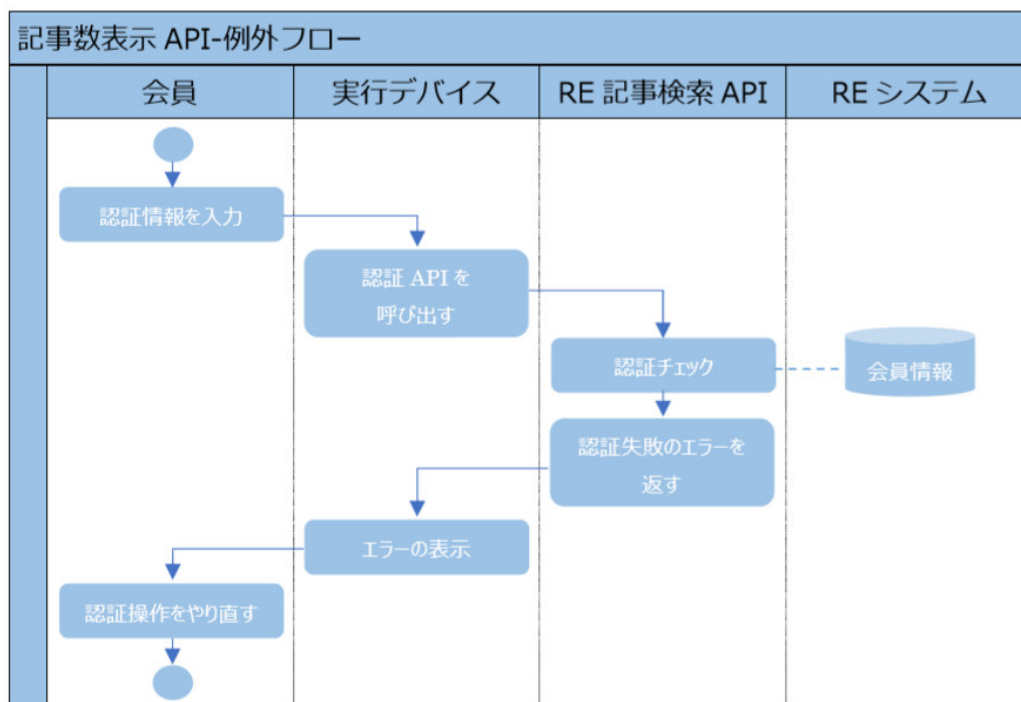
基本フローでは認証 API を利用し認証トークンを取得するフローと、その認証トークンを利用して記事数表示 API を呼び出し、記事数を取得するフローを表しています。

認証トークンには期限を設けてあり、1 ヶ月以内であればリフレッシュトークンを使って認証トークンを再発行することができます。



1.3. 例外フロー

記事数表示 API の例外フローを下図に示します。



2. API 一覧

2.1. 記事数表示 API の一覧

記事数表示 API の一覧を以下に示します。

API 名	URI	概要
会員認証 API	/api/login_check	RISK EYES 会員であるかの認証を行い、認証トークンとリフレッシュトークンを発行します。 有効期限：2 日間
記事数表示 API-新聞	/api/search/paper/count	認証された会員にて新聞記事の検索を実行し、記事数を返却します。
記事数表示 API-WEB	/api/search/web/count	認証された会員にて WEB ニュース記事の検索を実行し、記事数を返却します。
認証トークン再発行 API	/api/token/refresh	認証トークンが期限切れになった場合、リフレッシュトークンを使用してアクセストークンを再発行することができます。 有効期限：1 ヶ月

3. 会員認証 API

3.1. リクエスト

Protocol	https		
Host	www.riskeyes.jp		
Path	/api/login_check		
Method	POST		
Headers	Content-Type: application/json または Content-Type: application/x-www-form-urlencoded		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
_username	ユーザ ID	○	RISK EYES の会員 ID を設定します。
_password	パスワード	○	RISK EYES のパスワードを設定します。
リクエストの例			
{"_username":"client1","_password":"password"}			

3.2. レスポンス

正常

Status	200		
Headers	Content-Type: application/json		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
token	トークン	○	JSON Web Token です。
refresh_token	リフレッシュト ークン	○	JSON Web Token を再発行す るために使用します。
レスポンスの例			
<pre>{ "token": "eyJhbGciOiJSUzI1NiIsInR5cCI6IkpXUyJ9.eyJleHAiOiE1NDQ1MjQ0OTAsInVzZXJuYXW1IjoibW1vY2hpZGEiLCJpYXQiOiIxNTQ0NDM4MDkwIn0=.CbS20HLzrbd5IOLOiZRn9EKUwdjMA9NigXds5qgkOV3B1pdvOP8Nq9IOargpRGwVH9QtfrL7nVMDD+34t6msBgRkPzV¥/6yTj+wyL0rDyN2POTbS1XVjMZqhubFb6OdpXETi1dXhOW7KKnIdMwim3ywfamaZQcNxz5UDogFVPpgc6C5ETFycxbGZTIHJrXlDn6qlf2o+4ZiobKBn3V8ZvnY+vmKS3x2¥/dABQHBKxqAv8inHyCgZeaTnZ0tTlmn0J1XUcl7PI1BK+zT¥/uDEa+M9AZpTeEb5G9Blw00eAdWGV8NBel5rbRznRE17V9+7xmMIUkVLhOWlj0hsg¥/LPJtJ9IjymOAUf7XirDo9oPOVACLZ5¥/c67UZI3DpiDBr9aIP7¥/QLDI5Pie++e2PhCsftzuRITsjhQije1nOOrV2nPcsRaTt¥/p5jZUzqNqVw2x¥/rN9ZkOG¥/aWknkP3QYwmoD4LsqcmVRGWZKswj0z7RqPn4DEzGMSxqv12WOy0BLqRPvcSU5IUYU81¥/Y¥/qETaG8Amam+wHAnNgtkGFmH0YCS99h¥/0h52NZnT¥/SSRMoN8ChB1VKhtF+mAuMUP3T2qu6BriSv3aM¥/DnOXChjaa43nSOchylzVpk9Ds4IHqhKBj7uC6HComC3kpx00GDHbs8iyjezEaiWQqUinozmE3nT59YvUk=", "refresh_token": "8e8788ab9c91946de38846147954b72597c07b34886346cc71a130ed1cc903cac98117f4b122b09d4361882520a03c3dac278666d90fb696cb5df9289a4eb09c"} </pre>			

エラー

Status	4xx		
Headers	Content-Type: application/json		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
status	ステータスコード	○	ステータスコードです。
message	エラーメッセージ	○	エラーメッセージです。
レスポンスの例			
{"code":401,"message":"Bad credentials"}			

エラーの内容

メッセージ	備考
Bad credentials.	RISK EYES サーバー認証失敗 パスワード不一致
Invalid token.	トークンが存在しない、または不一致
Your token is expired.	トークンの有効期限切れ
Invalid username.	会員 ID が存在しない

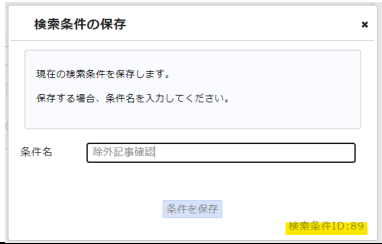
4. 記事数表示 API

4.1. リクエスト

Protocol	https		
Host	www.riskeyes.jp		
Path	/api/search/paper/count /api/search/web/count /api/search/blog/count /api/search/overseas/count		
Method	POST		
Headers	Content-Type: application/json または		
	Content-Type: application/x-www-form-urlencoded Authorization: Bearer { token }		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
keyword	調査キーワード	○	任意文字列 ※テキスト一致による検索のため、入力ワードは見出し・本文に含まれやすい形式を推奨します。 例) 人名⇒姓を空白なしで入力 ex) 松本隆司 法人名⇒法人格なし ex) 株式会社 /株などは入力しない ※空白が含有している場合、AND 検索となります。 例) 「LINK Japan」 ⇒ 「LINK」と「Japan」が含まれる記事を報告
negative_type	ネガティブワードタイプ	○	デフォルト 0 ※会員ページにネガティブワードのパターンを複数設定している場合、下記リクエストに準じたネガティブワードの切り替え検索ができます。 0: 貴社標準ネガワード 1: ネガワード 1 2: ネガワード 2 3: ネガワード 3

address	地域名		<p>任意文字列 複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し OR 検索します。</p> <p>※地域名が入らない記事も多いため極力使用せず、検索結果が多すぎる場合での活用を推奨します。</p> <p>※記事に表記される住所は、「東京都千代田区」「東京・千代田」「千代田区霞が関」など表記がバラバラなので、「都・道・府・県・市・区・町・村」は除外した表記で指定すると必要記事を極力取得できます。</p> <p>例) 東京 千代田 霞が関</p>
limit	絞込ワード		<p>任意文字列 複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し AND 検索します。</p> <p>※ヒットした記事数が多く、法人格つき社名で検索したい場合、調査キーワードはそのまま、絞込ワードに法人格つき社名を入力し再検索すると、法人格つき社名の検索に対し検索料が追加発生することなく結果を絞り込めます。</p> <p>例) 調査キーワード ⇒ソーシャルワイヤー 絞込ワード ⇒ソーシャルワイヤー株式会社</p>
keyword_not_flg	除外ワードフラグ		<p>1 をリクエストした場合、会員ページにある『除外ワード候補の抽出 (β版)』機能を使って、調査キーワードの類似語を自動抽出します。</p>

keyword_not	除外ワード		<p>任意文字列 自動抽出以外に文字列をリクエスト追加できます。 複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し OR 検索します。</p> <p>※最大件数について 自動抽出も含めて最大 990 件までとします。件数オーバーの場合、先頭から区切り文字で数え、キーワード単位で切り捨てとします。優先順位はリクエストキーワード > 自動抽出の順になります。</p>
time_period_01	掲載開始期間		yyyy/mm/dd 形式
time_period_02	掲載終了期間		yyyy/mm/dd 形式
createdate_start	記事登録日開始期間 (FROM)		<p>yyyy/mm/dd 形式</p> <p>※記事は掲載後も更新される可能性があるため、特定の日付からの差分期間の検索をしたい際に利用します。</p> <p>例) 掲載日 18/1/10 記事登録日 19/10/16 という記事があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載日 「2019 年 01 月 01 日～検索日 (2019 年 12 月 31 日)」 で検索すると記事はヒットしません。 ・記事登録日 「2019 年 01 月 01 日～検索日 (2019 年 12 月 31 日)」 で検索すると A 記事はヒットします。 <p>※検索料の課金可否は本パラメータと調査キーワードの一致で判断しています。本パラメータを指定した初回検索から 31 日以内は課金 1 回のみ。ただし、調査キーワードが同一であっても本パラメータの値を変更すると課金が発生します。</p>

enduserid	利用者 ID ※利用者管理機能を利用中の会員専用パラメータ	会員ページに登録されている利用者 ID をリクエストした場合、リクエストした検索に対し利用者情報が自動保存され、検索履歴・料金照会に反映されます。 ※無効 (利用者管理機能未提供・未登録・利用者 ID のステータスが停止中) の利用者 ID が使われた際は、「管理者」が検索したことになります。
remark	備考に残す	任意文字列 文字列をリクエストすると、『備考に残す』機能にあるコメント欄に自動保存されます。
condition_id	検索条件の保存	数字 (検索条件 ID) 保存済みの検索条件が反映されるようリクエスト追加できます。 ※リクエストしたい検索条件を選択し、『保存』ボタンを押すと下記の画面が表示されます。右下に検索条件 ID があります。 
リクエストの例		
<pre>{ "keyword": "山田太郎", "address": "東京", "negative_type": 0, "limit": "東京", "keyword_not_flg": 1, "keyword_not": "犯罪 テスト", "time_period_01": "2018/04/01", "time_period_02": "2018/12/31", "create_date_start": "2019/01/01", "enduserid": "taro_social@socialwire.jp", "remark": "テスト", "condition_id": "89" }</pre>		

レスポンス

正常

Status	200		
Headers	Content-Type: application/json		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
status	ステータスコード	○	ステータスコードです。
clip_count	記事数	○	記事数です。
レスポンスの例			
{"status":200,"clip_count":"112"}			

エラー

Status	4xx または 5xx		
Headers	Content-Type: application/json		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
status	ステータスコード	○	ステータスコードです。
errors			配列
message	エラーメッセージ	○	エラーメッセージです。
error_code	エラーコード	○	エラーコードです。
レスポンスの例			
{"status":400,"errors":{"message":"{clip_id} does not exist.,"error_code":"E400003"}}			

エラーの内容

ステータスコード	メッセージ	備考
400002	{keyword} is required.	{調査キーワード}は必須パラメータになります。
400003	{clip_id} does not exist.	{案件}が設定されていません。(※1)
	{negative_keyword} does not exist.	{ネガティブキーワード}が設定されていません。(※1)
	{db_type} does not exist.	{DB タイプ}が設定されていません。(※1)
400004	{negative_type} invalid value.	{ネガティブワードタイプ}の設定値として無効な値が設定されています。

400005	Unavailable characters.	リクエストパラメータに使用できない値(※2)が含まれています。 以下が対象のリクエストパラメータになります。 ・ keyword ・ address ・ limit ・ keyword_not
500001	{keyword_not} internal communication error.	除外ワードの自動抽出中に内部エラーが発生したことを表します。(※3)
	{paper_count} internal communication error.	新聞記事数の取得中に内部エラーが発生したことを表します。(※3)
	{web_count} internal communication error.	WEB ニュース記事数の取得中に内部エラーが発生したことを表します。(※3)
500002	Over 10000.	検索結果が 10,000 件以上になった場合、検索エラーとなります。 調査キーワード以外にリクエストパラメータを指定し、記事数をご調整ください。

(※1)本 API の契約をお申し込みの際に、運営事務局にて設定が必要になります。

(※2)「6.リクエストパラメータについて」をご参照ください。

(※3)運営事務局までお問い合わせください。

※記事数表示 API にリクエストを送った際、エラーメッセージがなく、『500 Internal Server Error』となる場合、トークンが正しくないことによる認証エラーの可能性があります。

『会員認証 API』のトークンはスラッシュの前にバックスラッシュも含めたものが正しいトークンです。

バックスラッシュを含めたトークンが正しいトークンであることの確認方法として、curl でトークン発行 API を叩いたときにスラッシュの前にバックスラッシュが存在することを確認いただけます。

バックスラッシュを含んだ状態のトークンにて疎通確認をお願いいたします。

5. 認証トークン再発行 API

5.1. リクエスト

Protocol	https		
Host	www.riskeyes.jp		
Path	/api/token/refresh		
Method	POST		
Headers	Content-Type: application/json または Content-Type: application/x-www-form-urlencoded		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
refresh_token	リフレッシュトークン	○	認証トークンで発行されたリフレッシュトークンを指定します。
リクエストの例			
{"refresh_token":"8e8788ab9c91946de38846147954b72597c07b34886346cc71a130ed1cc903cac98117f4b122b09d4361882520a03c3dac278666d90fb696cb5df9289a4eb09c"}			

5.2. レスポンス

正常

Status	200		
Headers	Content-Type: application/json		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
status	ステータスコード	○	ステータスコードです。
token	トークン	○	JSON Web Token です。
レスポンスの例			
<pre>{ "status": 200, "token": "eyJhbGciOiJSUzI1NiIsInR5cCI6IkpXUyJ9.eyJleH AiOjE1NDQ2MDg3MDgsInVzZXJuYXW1IjoiY2xpZW50TW9jaGlkYTEiLCJw cml2YXRlX2tleV9wYXRoIjoiXC9Vc2Vyc1wvb2d1cmFtaWthXC93b3JrXC9 zb2NpYWx3aXJlXC9naXRcL3Jpc2tzZWZyY2hcl2FwcFwvdmFyXC9qd3Rc L3ByaXZhdGUucGVtIiwicGFzc19waHJhc2UiOiIxMTEuMTExIiwiaWF0IjoiMTU0N DUyMjMxMjM5LjE1TVIscXhRkNZWAw5w2y/y3GsMQIEcljaqNMCAwUnN3O fNj9r2pC2v15CKora¥/Y65DgN4vn2lxy5rbHzq5ZC1WIhr3¥/qMNL6Lj6wX FuS5g+3h7Blb2vLT4wULcjj4Suurgg82RM1sCn46Pfs+H5OGyCDgLjBhw BX+¥/0Qb¥/awPNDvGRsRtAkeQ74LZYr80Tq24mOWVvUg0VsPYiKI8e K4rOXkvfNH7x66R5FvNMbbpK3XUcfix4QwMBTKflbs9A0oCNDwGVzjQvA KVRKCz7¥/HjLcPjK+CbMu6D9Gcx9FbRsPFT1x+5OLiyPmaCOFaFgZpv9o ndB6MblB0IOXi7zUwAbZhtzcwcrvaXGULVbe9Lw9c0vbaOeSfKQchbu0Jx E35QX5¥/zWQ4ka3YDIVw946crgRnhUIQJE+0npr2qBOT0g19ktCXstq4o kmlO6hsmFabnfkrFmVW+wrO¥/k¥/rbs6sNxOLIIM1POOt1tyK7NaWk59 Hdjvx6PE8OqNHzc8Ao3iNZeNIC8Ew43w81+dNBra3fMesGVxRFM7YHfdj CIAkQYk4NZCOyGtUHOXLnQjIhteohSjek63PclwQpG6T1Gnb¥/INVYcRG LfUwTys4iDmNAmbFGVuWb9wBjwSWaw7Q3CwUd0crPlpPAiK8b69Cfum 7yb35zV4UR3FCWxep¥/Tos="}</pre>			

エラー

Status	4xx		
Headers	Content-Type: application/json		
Body			
パラメータ名	項目名	必須	備考
status	ステータスコード	○	ステータスコードです。
errors			配列
message	エラーメッセージ	○	エラーメッセージです。
error_code	エラーコード	○	エラーコードです。
レスポンスの例			
{"status":400,"errors":{"message":"{refresh_token} does not exist.,"error_code":"E400003"}}			

エラーの内容

ステータスコード	メッセージ	備考
400002	{refresh_token} is required.	{リフレッシュトークン}は必須パラメータになります。
400003	{refresh_token} does not exist.	{リフレッシュトークン}が設定されていません。
400006	{refresh_token} is expired.	{リフレッシュトークン}の有効期限が切れた場合のエラーになります。

6. リクエストパラメータについて

6.1. 検索条件の文字数制限について

検索条件で指定できる文字列の「一つのワードの長さ」は 206 文字までの制限があります。「一つのワードの長さ」とは、パラメータで指定された文字列の文字数ではなく、検索式で指定した個々の単語の文字列の文字数になります。

たとえば、"AAA BBB"という値を指定した場合は、AAA や BBB の文字数が 206 文字までになります。※"AAA BBB"の文字数 (合計の文字数) は 206 文字を超えても問題ありません。また、byte 数ではなく、あくまでも文字数での制限です。

6.2. 検索条件で指定できる文字列の制限について

- 注意が必要なワードについて

- 漢字以外の文字 (ひらがな・カタカナ・英数字・記号) は 1 文字では検索できません。

<検索不可ワードの例>

あ か 1 & あ AND 富士通

- 英字は、大文字と小文字が区別されます。
- ネガティブワードに含まれているワードは検索キーワードに指定できません。
例：暴力団 等

- 同一とみなされる文字について

- 半角カタカナと全角カタカナ
- 半角英数字と全角英数字
- 読点 (、) とカンマ (,)
- 句点 (。) とピリオド (.)
- 単一引用符の全角 (') と半角 (')
- 二重引用符の全角 (") と半角 (")
- 長音 (ー)、全角ハイフン (-)、半角ハイフン (-)、全角マイナス (-)、半角マイナス (-)

- キーワードとして使えない文字について

- 丸カッコ ()
- 「AND」「OR」「NOT」
- 機種依存文字、環境依存文字 (※4)
- 半角カンマ ,

(※4)記事が収録される段階で、機種依存文字、環境依存文字は常用漢字に変換されます。常用漢字が存在しない場合、下駄記号 (二) を代替文字としています。

7. 留意点

7.1. 会員ページでのリアルタイム検索について

(1) 検索料について

記事がヒットした取引先に関する記事は、会員ページでリアルタイム検索を実行し閲覧が可能です。その場合、同一の調査キーワード (法人名・個人名) において、記事数表示 API もしくはリアルタイム検索の初回検索から 31 日以内であれば、記事数表示 API もしくはリアルタイム検索で再検索した場合、検索料は追加発生いたしません。

ただし、記事数表示 API もしくはリアルタイム検索の初回検索から 31 日以内に再検索した場合、初回検索時点で収録されている記事を検索します。

たとえば、同一の調査キーワードにおいて、初回検索が 12 月 1 日の場合、12 月 31 日までは 12 月 1 日時点で収録されている記事を再検索します。そのため、12 月 20 日に収録された記事は閲覧できません。

また 1 月 1 日に再検索した場合、初回検索から 32 日以上経過しているため、再度初回検索扱いとなります。検索料が課金され、1 月 1 日時点で収録されている記事を検索します。

(2) 記事数の差異について

記事数表示 API・リアルタイム検索にて初回検索・再検索した場合、同一の調査キーワードであっても記事数の異なる結果が表示される場合があります。これは定常的に不定期で収録記事・除外ワードのメンテナンスを行っているためです。あらかじめご了承ください。

7.2. バッチ処理について

記事数表示 API を用いて、バッチ処理プログラムを組んでいただくことは可能です。その際、システム負荷の増大で検索エラーが多発し全顧客に悪影響を及ぼす可能性があるため、同会員内において、新聞・WEB 毎に記事数表示 API を複数同時に起動、並行処理することはおやめください。

(記事数表示 API-新聞を 1 本、記事数表示 API-WEB を 1 本、同時起動・並行処理することは可能です)

なお、夜間はシステム更新を頻繁に行なっているため、バッチ処理の起動可能時間は AM6 : 00~PM22 : 00 までとします。

その他、検索の留意点などはリアルタイム検索のマニュアルをご参照ください。
https://www.riskeyes.jp/manual_realtime.pdf

以上